

平成30年度 海外インターンシップ報告書

信州大学大学院総合理工学研究科工学専攻機械システム工学分野 修士1年

実習期間	平成30年 9月 17日(月) ~ 9月 21日(金)	5日間
実習企業	株式会社ユウワ	
実習地	ホーチミン市、ベトナム	

1. 実習目的

Chapter1 purpose

将来製造業の分野で、ベトナムで日本企業が現在どのような役割を担っていて、日本人が現地でどのように働いているのか、またベトナム人と日本人の働き方がどのように違うのかを知る事。

2. 実習先概要

Chapter2 summary of company

企業名：株式会社ユウワ
本社：長野県小諸市
海外拠点：中国、ベトナム
社員数：210名（中国500名、1,050名）
事業内容：小型精密プラスチック金型及び成型

3. 実習日程

Chapter3 schedule

2018/9/17 ベトナムへ渡航、JETRO ホーチミン事務所訪問
2018/9/18 地下鉄工事現場視察、ホーチミン師範技術大学（スピーチ交換、交流会）
2018/9/19 DDK ベトナム、YUWA VIETNAM、Nidec Sankyo、VSIP 事務所訪問
2018/9/20 ホーチミン市内見学、さよならパーティー
2018/9/21 帰国

4. 実習内容

Chapter4 laboratory

実習は事前の国内インターンシップで行われた研削機を用いた機械加工体験のみであり、一辺15mm程の鉄製材料の表面上に、1マイクロメートルの段差を計5段つけるというものである。

一方現地では、基本的に用意されたバスで移動し、協力企業の工場見学、企業概要説明、質疑応答がメインであり、社長や工場長などに案内してもらい、直接質問をすることができた。また、所々市内見学もあり、歴史的な重要建築物、戦争博物館を見学し、レストランでベトナムの伝統料理などを頂いた。面白い事に、ホーチミン師範技術大学の学生とのスピーチ交換、交流会が設定されていた。交流した学生は、日系企業への就職を支援するコースに参加しており、英語と少し日本語が話せ、親睦が深める事ができ、facebook等のSNS情報を交換した。

5. 実習の成果（成長した事）

Chapter5 result

- ベトナムは田舎で、生活水準は日本に比べてかなり低いと考えていたが、実際は開発がかなり進んでおり、想像以上に都会である事を見て気づいた。
- 仕事に対する考え方・姿勢に関して、ベトナム人と日本人との働き方の違いを知る事ができ、これからのベトナム人との付き合い方に生かそうと思った。
- 労働力の賃金が安いので、高額になってしまう自動化システムを部分的にうまく取り入れ、生産性を向上させるという手法を見て、今までの自動化への常識を覆された思いをした。
- ベトナム戦争、植民地時代の影響の大きさを実際に町の中で見ることができ、ベトナム人の習慣や背景の理解の役に立った。
- ベトナムの日系企業で日本人がどのような立場で仕事をし、日本の技術などがどのように生かされているか実際に見て、ベトナムから見た日本の役割を再認識でき、誇りに思うことができた。
- 交流会やさよならパーティーでは、歌やダンスを取り入れて楽しむ事が多く、恥ずかしがってはいは輪に入れないという事を学んだ。

6. 今後の課題

Chapter6 problem

- 現地の学生と親睦を深め、連絡先を交換したが、この繋がりを将来どのように生かしていくか考えなければならない。
- ベトナムで働く管理職に就くベトナム人や韓国人などの従業員は、3か国語以上話すのがほとんどで、将来仕事をスピーディに行うためにも、ベトナム語なども話せなければならない。
- 今回、現在のベトナムの経済事情や推移を知る事ができたが、その情報をこれからどのように利用していくか考える必要がある。
- このインターンシップで得た経験を就職活動にどのように生かすか考えなければならない。

7. 海外インターンシップに行こうか迷っている学生に一言

Chapter7 Advice

将来、製造業で海外を考えているなら参加をお勧めします！しかし、視察・質疑応答がメインのインターンシップとなり、機械加工などの実習はほとんど行われないので注意が必要です。

8. 謝辞

Chapter8 Address of gratitude

最後に、本インターンシップの準備、引率、所々での解説をして頂いた YUWA VIETNAM 社長の飯高真一様、株式会社ユウワ社員の山之上夏希様を始めとするその他社員の皆様に感謝いたします。